

# 骨格筋スマート社会実現コンソーシアム 第5回講演会

骨格筋は近年、生体における動力源としてだけでなく、生体内代謝の主を担う重要臓器として認識されるようになり、健康長寿社会の実現に向けた予防医療/創薬の魅力的なターゲットとして注目を集めるようになりました。本コンソーシアムではこれまで、骨格筋若手研究者や企業様との分野横断的な交流を目的に、講演会等の活動を実施してきました。今回は、健康長寿のための骨格筋の維持について、運動や食の観点から考え、世の中が必要とする技術について議論する機会が出来ればと願ひ、企画しました。皆様のご参加と活発な交流・ご発言を期待いたします。

15:00-15:05

## はじめに

15:05-15:40

## 健康長寿のための骨格筋の「量」と「質」の研究

超高齢社会を迎え、サルコペニアやフレイルは喫緊の課題である。とりわけ、70歳前後を境に、メタボ対策からフレイル対策を講じることの重要性が示唆されている。今回は、我々が近年推進している、中高齢者を対象としたレジスタンス運動と栄養素材の骨格筋特性に及ぼす効果について紹介する。また、今後の研究展望として、三次元骨格筋培養細胞を用いた研究についても概観する。

立命館大学 スポーツ健康科学部 橋本 健志 先生

15:40-16:15

## 肉らしい肉をつくるために

近年、SDGsの観点から、従来の畜肉に代わる代替肉の開発が精力的に進められています。さまざまなタンパク源について検討・開発が行われているなかで、特に動物細胞と大豆以外のタンパク源から「肉らしい肉を作る」ことを目指した、3Dプリンティングを活用する取り組み（検討としては不十分ですが）について、紹介させていただきます。

大阪大学 基礎工学研究科 境 慎司 先生

16:15-16:50

## 管理栄養士から見たアミノ酸と脂肪酸の平均摂取量解析 ～量と質 両方共に 良質に～

メタボロミクスを活用し臨床栄養の客観的評価に取り組んできた。日本人の食事摂取基準に、たんぱく質と脂質の目標量は示されているが、各アミノ酸や脂肪酸の記載がない。日本食品成分表の「質」と国民栄養調査の「量」を掛け合わせ、何をどのくらい食べれば良いかの問いを解決するため、摂取平均値を解析したので紹介させていただきます。

同志社女子大学 生活科学部 奥村 仙示 先生

16:50-16:55

## 最後に

主催：骨格筋スマート社会実現コンソーシアム

オーガナイザー：長森 英二（大阪工業大学）

藤田 英明（広島大学）

日時 2022年 11月14日（月） 15:00～16:55

形式 Web開催（参加登録いただいた方に、事前に参加用URLをお送りします。）

参加費 無料

参加登録

以下のURL、またはQRコードにアクセスして  
お申込みください。

<https://forms.gle/2PHZJd7Zn8JvnkXe6>

締切：11月7日（月）

お問い合わせ ✉

長森 英二、平井 晴香（大阪工業大学）  
eiji.nagamori@oit.ac.jp  
hirai.haruka@joshu.ac.jp



これまでの活動は→<http://www.oit.ac.jp/bio/labo/~nagamori/skmuscle.html>